

## 出産・子育て応援交付金事業の事例集（第2版）

令和6年1月26日

こども家庭庁成育局成育環境課

昨年12月に閣議決定した「**こども未来戦略**」では、出産・子育て応援交付金について「2024年度も継続して実施するとともに、2025年度から子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）の新たな給付として制度化することとし、所要の法案を次期通常国会に提出する。」とされたところです。制度化に向けた検討状況については、こども家庭庁ホームページに順次掲載していますので、ご参照ください（[審議会資料はこちら](#)）。

# 出産・子育て応援交付金事業の事例集（第2版）の趣旨・概要

- 令和4年度第2次補正予算で創設した「出産・子育て応援交付金」は、全ての妊婦・子育て家庭に早期に届けるべく、これまでの取組を活かしながら、地域の実情に応じて、地方自治体の創意工夫に基づいて柔軟に事業を実施できるような仕組みとしたところです。
- 昨年3月には、早期に事業開始いただいた市町村の特徴的な取組を、**事例集（第1版）**としてとりまとめました。現在では、出産・子育て応援ギフトの支給対象者のいるすべての市町村において事業を開始いただいています。
- 事業開始から早い自治体では約1年経過し、各自治体でも様々な取組がなされているところ、特徴的な取組を横展開するために**事例集（第2版）**を作成しました。**伴走型相談支援、出産・子育て応援ギフトのそれぞれにおいて、デジタル技術を積極的に活用した取組**を中心に取りまとめています。
- 妊婦・子育て家庭の手続きの負担軽減や事務処理の負担軽減の観点からデジタル技術を活用した取組も参考に、今後の事業をより発展させていくためのご参考として本事例集をご活用いただければ幸いです。
- なお、昨年12月に閣議決定した「**こども未来戦略**」では、出産・子育て応援交付金について「2024年度も継続して実施するとともに、2025年度から子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）の新たな給付として制度化することとし、所要の法案を次期通常国会に提出する。」とされたところです。制度化に向けた検討状況については、こども家庭庁ホームページに順次掲載していますので、ご参照ください（[審議会資料はこちら](#)）。

市町村	出生数 総人口	出産・子育て応援交付金事業の特徴的な創意工夫の取組	事業 開始日	頁数
①北海道石狩市	267人 約5.8万人	妊娠8か月頃の面談を、 <b>市主催のマタニティ教室会場でも実施</b> 。出産・子育て応援ギフトは市オリジナル仕様にカスタマイズした「 <b>デジタルギフト</b> 」を支給	R5.4.1	P2 ～3
②秋田県湯沢市	125人 約4.1万人	妊娠届出時の面談で「 <b>妊娠届出時すくすくアンケート</b> 」を活用して実施。「 <b>妊娠後期電話相談</b> 」では <b>里帰りしている妊婦へも連絡</b> し、里帰り先でも活用できる支援制度を案内	R5.3.1	P4 ～5
③埼玉県所沢市	1,979人 約34.4万人	LINEアカウント「 <b>所沢市子ども・若者情報チャンネル</b> 」を活用して子育て世帯へ情報発信。 <b>同LINEアカウント</b> を出産・子育て応援ギフトの申請時にも活用	R5.4.1	P6 ～7
④東京都日野市	1,204人 約18.7万人	<b>妊娠届出や妊婦面談等の予約</b> のほかに、こどもの年齢に応じた情報や子育てに必要な行政情報の配信に <b>日野市子育てモバイルサービス「ぼけっとなび」</b> を活用	R5.3.1	P8 ～9
⑤岐阜県関市	465人 約8.5万人	アンケートの回答に <b>ロゴフォーム</b> を活用。 <b>Instagram</b> と <b>LINE</b> を活用した情報発信と <b>オンライン相談</b> に対応。 <b>出産・子育て応援ギフト</b> は電子商品券「 <b>せきPay</b> 」で支給	R5.1.24	P10 ～11
⑥大阪府和泉市	1,102人 約18.3万人	出生後の面談時は、 <b>こんにちは赤ちゃん事業</b> を活用して、 <b>保健師や保育士と民生委員児童委員が連携</b> して訪問。 <b>出産・子育て応援ギフト</b> の申請に <b>LINE</b> を活用	R5.3.27	P12 ～13
⑦高知県四万十市	176人 約3.2万人	アンケートの回答や妊婦教室等の予約に「 <b>しまんと子育て応援アプリ おやこっこ</b> 」を活用。 <b>子育て応援のFacebook、Instagram</b> により情報発信。アンケートの回答をもとに <b>全妊婦へ相談等の対応</b>	R5.2.1	P14 ～15
⑧鹿児島県薩摩川内市	621人 約9.2万人	出生後の面談のほか、 <b>生後3週間電話相談</b> や <b>1～2か月児相談会</b> を実施し、接触機会を増加。相談内容に応じて、 <b>保健師、助産師、臨床心理士、管理栄養士、歯科衛生士の専門職</b> が対応	R5.2.1	P16 ～17

# 出産・子育て応援交付金事業の実施例 1 北海道石狩市①

## 市の概要・取組の経過

人口 …約5.8万人(R5.10)  
出生数 … 267人(R4)  
事業開始日 …令和5年4月1日

## 実施体制

担当部局…保健福祉部 保健推進課  
担当職員…面談等対応：保健師11名（保健推進課6名、厚田支所3名、浜益支所2名）  
母子保健コーディネーター（会計年度任用職員の保健師）2名  
子育てコンシェルジュ（会計年度任用職員の保育士）2名  
経済的支援：保健推進課の事務職員で対応

## 特徴的な創意工夫の取組（これまでの取組・自治体独自の取組含む）

- 本庁、支所の保健師及び母子保健コーディネーターが**妊娠届出時のケアプランを策定**、子育てコンシェルジュや子育て支援センターと連携しながら子育て支援制度等の情報提供、子育てに関する相談など、包括的な支援体制を構築
- 市独自の経済的支援として、**ファミサポ無料券の配布**や、**居住地から出産医療機関までの距離がある妊産婦へ妊産婦健康診査等の交通費の助成**（妊婦一般健康診査の通院14回、出産に伴う受診1回、出産後の産婦健康診査の通院1回の計16回を限度）を実施
- 市内の子育て支援に携わる団体や子育てサークル、こども政策に携わる市役所職員などから構成するネットワーク会議「**いしかり子育てネット会議**」を年4回程度開催
  - ・子育てに関する情報交換や子育て中の方が楽しめる講座やイベントを企画・実施。これらのイベント情報などを掲載した「**いしかり子育てネットマガジン**」を毎月発行
- 行政サービスのオンライン化**を進めており、令和5年7月に子育てサポートに関するオンラインガイド「**子育てサポートガイド**」を他の窓口業務に先行して公開
  - ・子育てサポートガイドは**市民が質問に回答することで、妊婦や子育て世帯家庭向けの約30種類以上の市の支援策の中から、活用できる制度や手続き方法**が分かり、いつでも必要な情報が得られる
- 出産・子育て応援ギフト**は、デジタルギフト「giftee Box®」を石狩市のオリジナル仕様にカスタマイズした「**いしかりっ子の未来応援ギフト**」を支給
  - ・妊娠届出時及び出産後の面談時に**その場でカードタイプのギフト券を支給**  
ギフト券は、フード・ドリンクチケットやベビー・子ども服ギフトチケット、親子で楽しめるレジャー体験チケット、各種ECで使えるデジタルコードなど、**1,000種類以上の実用的なギフトに交換可能**



石狩市総合保健福祉センター りんくる



【いしかりっ子の未来応援ギフト】

## 伴走型相談支援

### ①妊娠届出時

- ・本庁及び支所の窓口において妊娠届出の提出及び母子健康手帳の交付に**随時対応**  
**母子保健コーディネーター**及び**保健師**が母子健康手帳の交付に併せて面談し、**ケアプラン**を作成するとともに、妊娠中の食生活状況を把握し、**妊婦栄養相談**を実施
- ・面談後は、**その場で妊婦へギフトカードを支給**



### ②妊娠8か月頃

- ・kintoneを活用し、**アンケートの回答用URLを記載したメール**を送信  
メールには**両親教室・マタニティ教室等の市の支援制度も併せて掲載**
- ・令和5年4月の本事業開始に合わせて、近年開催を見送っていた**マタニティ教室を再開**  
アンケートにより、**マタニティ教室で面談を希望する者には、当該教室で面談を実施**するほか、**当該教室に子育て支援センターのスタッフも参加**し、妊娠中から利用できる子育て支援センターの紹介や、子育てに関する相談に対応



【マタニティ教室の様子】

### ③出生届出後

- ・こんにちは赤ちゃん事業で**地区担当保健師**が訪問し、**子育てガイド**を活用しながら面談を実施
- ・妊娠期からの支援経過や訪問時の状況から、産後ケアなどの各種支援制度や地域子育て支援センターの相談窓口等を案内

### ④随時の情報発信、相談受付

- ・子育て支援アプリ「**いしかり子育てコンシェル（母子モ）**」により、**乳幼児健康診査や予防接種の情報、親子向けイベントの情報**等をプッシュ型で提供
- ・子育てに関する総合案内の専門スタッフである**子育てコンシェルジュ**が、こどもや保護者のニーズに沿ったサービスを提示し、希望者には円滑に利用できるよう申請のお手伝いや別の窓口の紹介及びつなぎなど、必要なサービスが受けられるよう支援

## 出産・子育て応援ギフト

- ・**デジタルギフト「giftee Box®」**を石狩市のオリジナル仕様にカスタマイズした「**いしかりっ子の未来応援ギフト**」を支給
- ・ギフトポイントは、**ベビー用品や育児関連用品の購入、産後の身体に優しいグルメ**など、豊富な種類のギフトの中から希望するギフトに交換して利用することができ、給付対象者の幅広いニーズに対応
- ・ネット接続の手段を持たないなどの理由から面談時に紙のギフトを希望される場合は、**紙のギフト券を後日郵送**



## 取組の評価（利用者の声等）

- ・伴走型相談支援の開始に伴い、母子健康手帳交付時に**必要な資料を一括にして渡す**ことにより、「資料が見やすくなった」との声があり、マタニティ教室等でも参加者は母子健康手帳交付時の資料を引き続き活用されている
- ・**オンラインで簡単に申請**できる仕組みとなっており、申請者の負担軽減に寄与している

# 出産・子育て応援交付金事業の実施例2 秋田県湯沢市①

## 市の概要・取組の経過

人口 … 約4.1万人(R5.10)  
 出生数 … 125人(R4)  
 事業開始日 … 令和5年3月1日

## 実施体制

担当部局…子ども未来課子ども子育て応援班  
 担当職員…面談等対応：子ども子育て応援班・子育て世代包括支援センターの保健師6名  
 助産師1名（会計年度任用職員）、栄養士2名  
 経済的支援：事務職員1名

## 特徴的な創意工夫の取組（これまでの取組・自治体独自の取組含む）

○平成30年4月に子ども子育て応援班として**子育て世代包括支援センターHUG**及び**子ども家庭総合支援拠点**を開設

- ・子育て世代包括支援センターHUGの保健師2名が、母子健康手帳交付時の面接で、妊婦一人一人の状況を確認し個々に応じた支援を実施
- ・他課を含め妊産婦に対して支援を行う保健師同士で情報共有や支援内容を協議する妊産婦会議を開催

○令和2年度に、子ども子育て応援班に母子保健事業全てを統合。母子健康手帳交付面接を子ども子育て応援班保健師で対応

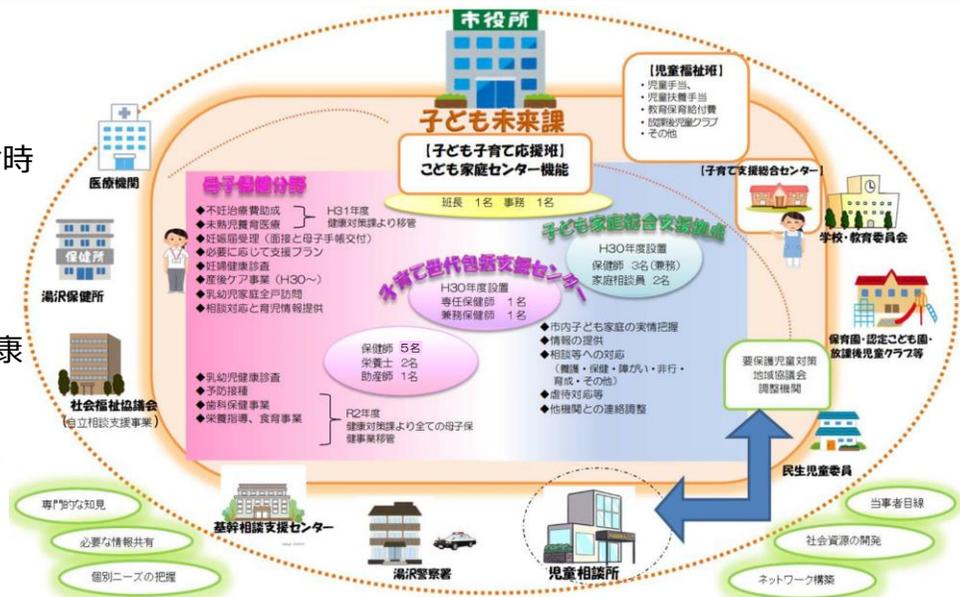
- ・産科医療機関とは、電話だけでなく直接訪問する機会を増やすことで、**産科医療機関の職員と顔の見える関係を構築**するとともに、密に情報共有を行っている
- ・支援の必要なケースについては、**子ども家庭総合支援拠点の子ども家庭支援員と情報共有**し、家庭への訪問や相談を実施

○「マイナス0歳からの食育」として、母子健康手帳交付時に妊婦に対し栄養指導を行っているほか、必要に応じて食生活に関する個別指導を実施

○令和4年度から「産前・産後家事ヘルパー事業（養育支援訪問事業）」を、令和5年度からは「子どもと家庭の自立応援訪問事業（子育て世帯訪問支援臨時特例事業）」を開始

○Zoomを活用した**オンライン子育て相談**や、**LINEのトーク機能を活用した出産・子育てに関する相談**にも対応しており、外出できず市役所に行くことが困難な方も、自宅に居ながら子育てに関する疑問や悩みについて相談できる体制を構築

○秋田県の独自事業として、**こども1人あたり2万円**を給付する「**あきた出産おめでとう給付金事業**」を実施



## 伴走型相談支援

### ① 妊娠届出時

- ・「**妊娠届出時すくすくアンケート**」により、妊婦の健康面や生活状況を把握
- ・アンケートの内容を参考に、**安心して妊娠期を過ごせるよう、セルフプランを立てながら面談を実施**

### ② 妊娠 8 か月頃

- ・従来より市独自で実施していた**妊娠中期アンケート**を活用し、出産子育てへの不安及び栄養状況等について確認を行い、希望者には電話や訪問等により面談を実施
- ・**出産予定日の約 1 か月前**に、産前産後の支援体制等確認のため全妊婦へ「**妊娠後期電話相談**」を実施
- ・**里帰りしている妊婦にも「妊娠後期電話相談」を実施し、里帰り先での生活状況等を確認しながら、里帰り先でも活用できる支援制度の案内を行うとともに、必要に応じて里帰り先から戻ってきた産婦に対して面談を実施**

### ③ 出生届出後

- ・**こんにちは赤ちゃん事業**において保健師・助産師等が産婦の自宅に訪問して面談を実施。産後の育児環境や支援体制を確認し、産後に活用できるサービスを紹介

### ④ 随時の情報発信、相談受付

- ・**LINE**を活用して、**出産・子育てに関する不安や悩み相談**に対応
- ・毎月第 3 週の水曜日に、**Zoom**を活用した保健師・栄養士に子育てに関する疑問や悩みについて相談できる**オンライン子育て相談**を実施



はぐ HUG ではこんなことをしています

HUGほっとライン ☎ 0183-55-8275 開設時間 8:30～17:15(月～金) ※祝日及び年末年始を除く  
妊娠から出産・子育てに関するご質問などはこちらにどうぞ

- 母子健康手帳の交付**
  - ◆ 場所：子ども未来館
  - ◆ 持ち物：①妊娠届出書(子ども未来館、市HP) ②個人番号通知カードまたは個人番号カード ③本人確認ができるもの(運転免許証、健康保険証など)
  - ◆ 時間：30分位の時間をいだけてお話を伺います。
- 妊娠中期アンケート、妊娠後期電話・メール相談**
  - 妊娠期に知っておきたい情報の提供と、プレママの体調などをお伺いします。
- プレバママ教室**
  - 赤ちゃんとのスキンシップのとり方を安心して赤ちゃんを迎えよう。
- 出産お祝いの贈呈**
  - 次世代を担うお子さんの誕生を祝し、湯沢市特産品由木の梅子(名前を刻印)を贈呈します。
  - ◆ 申請場所：市役所本庁舎、各総合支所(出生届出時)
  - ◆ お引き渡しについて：お子さんの名前を刻印後、庁舎にて贈呈します。
- あかちゃん訪問**
  - あかちゃんの計測、養育や予防接種の説明、育児相談をします。ママの健康状態の確認をし、安心して育児ができるようなサポートをしています。
- 産後ケア事業(宿泊型・訪問型)**
  - 家族などの支援が受けづらいお母さんの「からだ・こころ・育児」のサポートをします。
  - ◆ 対象となる方
    - 密閉型…おおむね生後4か月未満児
    - 訪問型…おおむね生後10か月未満児
  - ◆ 利用料
    - 密閉型…利用日数により異なります
    - 訪問型…1回 600円
  - 詳しくは担当までご相談ください。
- 産前・産後家事ヘルパー**
  - お母さんの体調回復や、赤ちゃんのお世話を集中して日中を過ごせるように、家事ヘルパーを派遣し、産前・産後の生活をサポートします。
  - ◆ 対象となる方
    - 妊娠および生後1歳までのお子さんを育児中の方で、産前産後の体調不良がある方、育児で家事に不安がある方、家事を頼める人がいない方など
  - ◆ 利用について
    - 12回、90分まで無料
    - 詳しくは担当までご相談ください。
- 母乳育児応援講座 ～助産師さんについて見よう～**
  - 産後の悩みのトップは授乳にまつること…妊娠中から正しい情報を学び、産後の楽しい育児を目指しましょう
  - ◆ 詳細はHPまたは担当までご相談ください。
- 産前産後のサポート**
  - 保健師がご自宅を訪問し、妊娠や出産・子育ての不安や心配事について、相談やアドバイスを行います。
  - ◆ 対象：妊娠中、子育て中の方などでもお気軽にご連絡ください。
- 2か月児アンケート**
  - あかちゃんの発育やママの心身の状況について、アンケートでお伺いします。心配事については、保健師がしっかりサポートします。

## 出産・子育て応援ギフト

- ・事業の早期実施の観点から、**現金給付**を選択
- ・子育て応援ギフト支給時に、秋田県独自の支援策である「**あきた出産おめでとう給付金**」**2万円**も併せて支給

## 取組の評価 (利用者の声等)

- ・従来から実施している妊娠中期アンケートに加え、伴走型相談支援としての妊娠届出時、出生届出時の面談を実施することにより、妊娠中～後期の妊婦の体調や不安等をより詳細に把握することができ、適切な支援に繋がっている
- ・子育て応援ギフトに併せてあきた出産おめでとう給付金も受け取ることができ、「産後の費用がかかる時期には非常に助かる」との声



## 伴走型相談支援

### ①妊娠届出時

- 子育て世代包括支援センターからがもにて、助産師又は保健師が面談を実施しながら、妊娠・出産期を安心して過ごせるよう「**かるがもプラン**」を作成かるがもプランには、**気軽に相談できるよう相談先の電話番号**を記載
- 妊娠届出及び面談は、直接来所または**埼玉県電子申請・届出サービスからの予約**により対応。事前予約した場合には、月に1回、**土曜日の母子健康手帳交付**も実施
- 妊娠中の栄養補給、栄養指導の一環として**カロリーメイトゼリー**を提供

### ②妊娠8か月頃

- 回答フォームのURLを添付したメール**にてアンケートを送付
- 出産応援ギフトの未申請者に対しては、助産師又は保健師による電話確認を行うとともに、必要に応じて電話での相談対応や訪問を実施
- 妊婦サロン、母親学級、両親学級**を案内。妊婦同士の交流や、妊娠から出産、育児に関する情報提供や助言を行うほか、相談にも対応

### ③出生届出後

- 産婦・新生児訪問**又は**こんにちは赤ちゃん事業**にて、助産師又は保健師が訪問して面談を行い、母子の健康状態確認や健康や育児に関する相談、子育て支援に関する情報を提供

### ④随時の情報発信、相談受付

- X (旧Twitter) アカウント「**ところっこ子育てサポート**」やLINEアカウント「**所沢市子ども・若者情報チャンネル**」により子育て世帯や若者に関する情報を発信

## 出産・子育て応援ギフト

- 子育て関連の商品券や電子マネー等に交換可能なギフト**により支給
- 面談実施後、**LINEアカウント「所沢市子ども・若者情報チャンネル」**の2次元コードと個別IDを記載した申請案内書類を手交
- 支給対象者は**同チャンネルへの登録後、同チャンネル上にある給付金申請システム**から申請
- 支給決定後、市から**ギフトの二次元コードを添付したカード**を送付
- 配偶者やパートナーも使用しやすいように**ギフトカード1枚の金額を2万5,000円に設定**

## 取組の評価 (利用者の声等)

- 出産・子育て応援ギフトの申請にあたって、LINEアカウント「子ども・若者情報チャンネル」を活用していることから、**妊産婦や子育て世帯と市の継続的な繋がりのきっかけ**となり、**従来以上に多くの妊産婦との面談の機会が確保**できるようになった
- LINEの活用により、届けたい情報を届けたい対象に届けることが可能となった

# 出産・子育て応援交付金事業の実施例4 東京都日野市①

## 市の概要・取組の経過

人口 …約18.7万人(R 5.10)  
出生数 … 1,204人(R 4)  
事業開始日 …令和5年3月1日

## 実施体制

担当部局…子ども部 子ども家庭支援センター  
担当職員…面談等対応：保健師 17名、助産師 1名  
経済的支援：事務職員 5名（保健師・事務職員ともに会計年度任用職員含む）

## 特徴的な創意工夫の取組（これまでの取組・自治体独自の取組含む）

- こどもと家庭の総合相談窓口である**日野市子ども家庭支援センター**を設置し、**母子保健、子育て支援、児童福祉**の全てに対応
  - ・2か所の**地域子ども家庭支援センター（万願寺・多摩平）**では、地域子育て支援拠点の機能を備え、保護者が自由に立ち寄り交流できるほか、子育て相談への対応やミニ講座による情報提供を実施
  - ・こんにちは赤ちゃん事業は、市保健師の実施及び**八南助産師会及び個人の助産師に委託**して実施
- 平成27年度に、**日野市子育てモバイルサイト「ぽけっとなび」**を開始
  - ・**予防接種スケジュール**などの便利機能を備え、サイト掲示板やメールにより市の子育て支援情報を発信
  - ・令和3年度には**アプリ化**することで、**プッシュ通知**が可能となり、情報発信を強化
  - ・**子育てひろばの利用**や**妊娠届出・母子健康手帳交付**と**妊婦面接の予約**も可能
- 日野市で妊婦面接を受けて出産した市内在住の方を対象に**育児パッケージ（ガーゼと育児グッズカタログ）**をプレゼント
  - ・出産後1年以内に、**育児パッケージの申請**を行い、窓口でカタログを受取
  - ・カタログの中から好きなグッズ（おむつ等）を選び、指定業者に申し込み後日指定業者から自宅に注文品が配送
- 令和3年度から、産後の栄養補給と配達による産後の見守りを目的に、おおむね**産後2か月以内の方に栄養士による献立にもとづいた昼食を配達**する「**産後家庭向け配食サービス（1食500円）**」を開始
- 令和5年度から、**産婦人科オンライン・小児科オンライン健康相談（Kids Public）**を導入
  - 以下のサービスが利用可能
  - ・いつでも相談：産婦人科医・小児科医・助産師に、**24時間オンラインで相談**が可能
  - ・夜間相談：平日午後6時～午後10時に1枠10分（予約制）で**LINE上でのメッセージ、音声通話、動画通話**にて相談
  - ・日中助産師相談：月・水・金午後1時～午後5時に**予約なしで助産師とLINE上でメッセージチャット**で相談
  - ・医療記事配信や月2回YouTubeにてライブ配信する**オンラインLIVE配信**



日野市子育てモバイルサービス「ぽけっとなび」

### 日野市 育児パッケージ カタログ



## 伴走型相談支援

### ① 妊娠届出時

- ・日野市子育てモバイルサービス「ぽけっとなび」から妊婦面接を予約し、予約日時に面談を実施
- ・面談では、妊娠～出産時期までに必要な手続きや利用できるサービス、妊娠中の健康管理、子育ての準備、産前産後のサポートを記載した**出産・子育て応援プラン**を活用
- ・訪問希望の方には、**妊婦訪問**で**保健師・助産師が家庭に訪問し保健指導を実施**

### ② 妊娠6～8か月頃

- ・妊娠6か月頃に、妊婦面接で確認した携帯電話番号に**SMSでLoGoフォームのアンケート回答用URLを配信**。携帯電話に直接届き、オンラインで回答できる利便性から、**配信後1か月以内に9割以上の方がオンラインで回答**
- ・アンケートの回答の確認では、**保健師が今後の支援方法を整理するために、妊婦の状況に応じた支援の流れを記載したフロー図を活用**



### ③ 出生届出後

- ・市からこんにちは赤ちゃん事業の委託を受けた助産師会又は個人の助産師が面談を実施
- ・妊娠期から地区担当保健師が支援に関与している場合は、**市の担当保健師が面談を実施し、支援を継続**
- ・妊婦届出時に妊婦面接を受け、出産後も市内に住民登録のある方には、**子育て応援グッズとして育児パッケージをプレゼント**

### ④ 随時の情報発信、相談受付

- ・日野市子育てモバイルサービス「ぽけっとなび」でこどもの年齢に応じた情報や子育てに必要な行政情報を配信
- ・「産婦人科オンライン・小児科オンライン健康相談」により、産婦人科医、小児科医、助産師への**オンライン健康相談が24時間可能**
- ・「プレママ（妊婦）&乳幼児健康相談」は、来所のほか**オンラインでも相談可能**であり、妊婦やこどもの成長、発達、育児、健康に関する相談に**保健師・助産師・栄養士・歯科衛生士が、相談内容に応じて個別に対応**

## 出産・子育て応援ギフト

- ・「東京都出産・子育て応援事業～赤ちゃんファースト」による**電子カタログギフト**により支給
- ・出産応援ギフトは**妊娠届出時の面談の際にLoGoフォーム上で入力し、申請を確認後、その場でギフトを支給**
- ・子育て応援ギフトは**LoGoフォームの二次元コードが記載された通知を郵送し、二次元コードを読み取り申請**申請及び赤ちゃん事業等での面談終了後に、ギフトカードを郵送（申請状況を随時確認し、未申請者には電話やSNSを活用して状況確認を実施）

## 取組の評価（利用者の声等）

- ・LoGoフォームやSMS等のデジタルを活用することで申請手続きの簡略が図られ支給対象者の負担軽減とギフトの円滑な支給に繋がっている
- ・妊娠8か月頃のアンケートでは出産前後の各種手続き方法や保育園についての質問が多く、必要に応じて関係する窓口での手続きに同行

# 出産・子育て応援交付金事業の実施例5 岐阜県関市①

## 市の概要・取組の経過

人口 …約8.5万人(R 5.10)  
 出生数 … 465人(R 4)  
 事業開始日 …令和5年1月24日

## 実施体制

担当部局…健康福祉部市民健康課（電子商品券「せきpay」は協働推進部企画広報課が主担当）  
 担当職員…面談等対応：保健師15名（正規職員13名、会計年度任用職員2名）※保健師は地区担当制  
 助産師4名（正規職員1名、会計年度任用職員3名）  
 経済的支援：保健師1名、事務職1名、会計年度任用職員1名

## 特徴的な創意工夫の取組（これまでの取組・自治体独自の取組含む）

- 「**子育て世代包括支援センターひだまり**」と市内4カ所の**地域包括支援センター**において「**利用者支援事業（基本型）**」を実施し、妊婦や子育て世代が、**身近な場所で気軽に相談できる体制を整備**
- 平成30年度から、安心して子育てができるように「**ママサポート券**」**1万円分**を支給
  - ・出産後1年を経過する日までの期間、医療機関、助産院または市内登録事業所において**母乳・育児相談事業、産前産後ヨガ、骨盤ケア、ベビーマッサージ等のサービス事業、産後ケア事業**で利用可能
- 平成30年度から、平成30年4月1日以降に関市で生まれたこどもの保護者等に対して、**子ども1人あたり3万円相当の「ベビチケ（紙の商品券）」**を支給
  - ・令和5年7月からは**電子商品券「せきpay」**による支給へ移行

※電子商品券「せきpay」：令和4年12月より開始した、市内登録店舗で利用できる市独自のスマートフォンアプリを利用したキャッシュレス決済手段で、二次元コードを利用者が読み取り支払い1円単位で利用が可能で、**出産・子育て応援ギフトもせきpayで支給**
- 令和元年度から助産師を採用し、**経験や知識を活かした相談支援**を実施
- 令和2年度から、妊娠した方へのお祝いとして**妊娠お祝い1万円分（せきpay）**を支給
- 令和5年度から、4月1日時点で18歳未満のこどもを養育している世帯を対象に、**子ども一人あたり3万円分のせきっこ未来応援券（せきPay）**を支給
- 令和5年度から、**産後ファミリー広場**を開催。従来から実施している**プレママ広場、プレファミリー広場、ひだまりサロン**に加えて産後も開催することにより、**助産師・保健師・管理栄養士・歯科衛生士など各種専門職への相談や利用者同士が交流できる場を提供**
  - ・育児休業取得経験者が、自身の育休取得の経験談を紹介する場を設け、妊産婦のみならず**妊産婦の配偶者やパートナーも含めた支援にも積極的に取り組んでいる**
  - ・各広場やサロンの利用は**ロゴフォームから申し込みが可能**



## 伴走型相談支援

### ①妊娠届出時

- 従来から母子健康手帳に貼付している**セルフチェックシート**に加えて、家族での育休の話し合いや仕事の引き継ぎ、職場復帰後の働き方（短時間勤務や残業免除等）の項目を盛り込んだ**子育て支援ガイド**を活用
- ガイドは、**見やすく無くしづらいよう母子健康手帳に貼付**  
 ※セルフチェックシート：妊娠期から産後まで健やかに過ごせるよう、自分と家族の生活の見通しを立てたり、振り返ったりするためのチェックシート

### ②妊娠8～9か月頃

- アンケートは紙又は**ロゴフォームでの回答も可能にしたことで、回答率が向上**
- アンケートの開始に伴い面談希望の確認を行い、**面談希望者には、来所、オンライン、訪問の方法により面談を実施**し、妊娠後期の体調や不安に関する悩みを把握し、相談に対応
- 配偶者、パートナーへの支援も重視し、配偶者、パートナーへのアンケートを送付**
- 面談希望者以外へも**妊娠9カ月頃には電話連絡を実施**

### ③出生届出後

- 概ね産後2週間から1か月の間に、**全ての産婦へ電話連絡**して母体とこどもの様子や、不安、悩み等の聞き取りを行い、**産後ケアにつなげる**。支援が必要な場合は、保健師・助産師が早期訪問し、**産後すぐの段階からきめ細やかな支援を展開**
- 配偶者・パートナーの視点を取り入れた子育て支援の重要性から、配偶者、パートナーへのアンケートを送付**

### ④随時の情報発信、相談受付

- 子育て世代包括支援センターひだまりの**LINEアカウント**と**インスタグラム**を運用。妊産婦の状況に応じてLINEを活用した相談にも対応するとともに、市の公式LINEによりプッシュ型で情報を発信。インスタグラムでは**サロンや広場の開催の様子等**を紹介
- 毎月1回、各保健センターで「**乳幼児健康相談**」を開催。赤ちゃんの発育・発達の確認や育児相談などについて、**保健師・助産師・管理栄養士・歯科衛生士**が対応



## 出産・子育て応援ギフト

- 電子商品券せきpay**（5万円分）で出産・子育て応援ギフトをそれぞれ支給
- ギフト支給申請書の提出後、アプリ内登録情報と申請内容が一致した方へ**アプリ内にせきpayポイントを付与**し、同時に支給決定通知書を送付



## 取組の評価（利用者の声等）

- 出産・子育て応援ギフトだけでなく、その他市独自の給付金も「せきpay」で支給しており、市内の経済効果に好影響を与えている
- 妊娠8か月頃のアンケートの実施により、従来以上に利用者のニーズを把握できており、その効果として産後速やかな産後ケアの案内や赤ちゃん訪問の実施につながっている

# 出産・子育て応援交付金事業の実施例6 大阪府和泉市①

## 市の概要・取組の経過

人口 …約18.3万人(R 5.10)  
出生数 … 1,102人(R 4)  
事業開始日 …令和5年3月27日

## 実施体制

担当部局…子育て健康部健康づくり推進室健康増進担当 保健(福祉)センター  
担当職員…面談等対応：保健師17名(保健センター8名、保健福祉センター9名)  
(任期付・会計年度任用職員含む)  
看護師 1名(会計年度任用職員)、保育士1名(会計年度任用職員)  
経済的支援：事務職員2名(会計年度任用職員)

## 特徴的な創意工夫の取組(これまでの取組・自治体独自の取組含む)

- 市保健(福祉)センター、こども未来室保育コンシェルジュ、子育て支援センターぶらんこ(地域子育て支援センター)が連携し、妊娠・出産や子育てに関する不安や悩みの相談に対応(いずまるごと子育て・健康応援事業(いずまる))
  - ・地区担当保健師全員を母子保健コーディネーターとして保健(福祉)センターに配置し、妊娠期からの相談支援に対応
  - ・プレママ・プレパパ広場や赤ちゃんひろばなどの妊娠～出産を支援するイベントを地域子育て支援センターで開催することで、妊娠期から地域子育て支援センターへの理解を深めて、産後の支援センターの活用につなげている
- 平成30年10月から、和泉市子育て・健康応援アプリ「いずまる」を運用。妊娠届出時にチラシを配付しアプリ登録を勧奨
  - ・妊娠週数やこどもの月齢に応じた健康管理や子育てのワンポイントアドバイスを通知する「いずまる通信」を配信
  - ・子育て関連施設や医療機関のマップでの検索やカレンダー形式での子育てイベント情報の確認、成長記録や育児日記の記録等が可能
- 令和2年9月に(地独)大阪母子医療センターと親子の健康と健やかな成育支援に関する連携協定を締結
  - ・令和4年10月から、毎週木曜日は、同母子医療センターにおいて妊娠確定診断を受け、かつ市の保健師の面談を受けた妊婦について、面談後その場で母子健康手帳を受けとることが可能
  - ・母子健康手帳交付時に母子医療センター作成の妊婦の防災ノートを配付し、妊婦の防災教育を実施
- オンラインでの各種教室参加や相談に対応
  - ・両親教室(妊婦教室)日曜1回コース・離乳食講習会：会場受講とオンラインのハイブリット形式で開催
  - ・保育コンシェルジュへの相談：毎週水曜日の午後にオンライン相談を実施
- 出産・子育て応援ギフト(いずまる応援ギフト)は、プリペイド式ギフトカードにより支給
  - ・ギフトは、面談実施後に和泉市公式LINEで申請し、その場でカードを受取
  - ・カードは、申請内容の審査後に、市からLINEで届く通知をもって利用可能



## 伴走型相談支援

### ①妊娠届出時

- ・保健（福祉）センター窓口にて母子健康手帳を交付時に、保健師が面談しながら、タブレットを用いて妊婦の健康状態等を入力し、その場で作成した**いずまるごと子育て・健康応援プラン**を妊婦に手交
- ・妊娠、出産、育児についての理解を目的として、父親へは**父子健康手帳**を交付
- ・面談後、**和泉市公式LINE**から**いずまる応援ギフト（妊娠）**を申請

### ②妊娠8か月頃

- ・**和泉市公式LINE**を活用して**アンケートを送付**。アンケートの回答結果を踏まえ、面談希望者と面談を実施

### ③出生届出後

- ・出産後、早期に支援が必要な方については、**新生児訪問**と生後1歳未満の乳児とその保護者を訪問する**いずまる子育てサポート訪問**で助産師が訪問。乳児の体重計測及び発達発育の確認、母の健康状態と育児手技について確認を行いアドバイスするとともに、不安や悩みがあれば相談に対応
- ・**こんにちは赤ちゃん事業（生後2か月頃）**では、**地域と連携した子育て支援**として、**保健師**や**保育士**と**民生委員児童委員**や**主任児童委員**が一緒になって対象家庭を訪問。赤ちゃん訪問での面談の実施後、**和泉市公式LINE**から**いずまる応援ギフト（子育て）**を申請
- ・1歳未満の乳児がいる家庭を対象に、月1回「**いずまるあかちゃんくらぶ**」を開催  
**授乳と離乳食**をテーマに**助産師**や**管理栄養士**、**歯科衛生士**、**保育士**が子育てについて話をするほか子育てへの不安や悩みの相談にも対応  
また、子育て支援センターが独自に作成した**支援センター紹介のDVD**を活用して参加者にPRし、**地域の支援センターに繋がるよう工夫**

### ④随時の情報発信、相談受付

- ・**和泉市子育て・健康応援アプリ「いずまる」**により、「**いずまる通信**」や**子育てイベント情報等**をプッシュ型で発信
- ・出産・子育て応援ギフトの申請に併せて**和泉市公式LINE登録者数**が増加していることから、**LINEを活用した情報発信も今後検討**



## 出産・子育て応援ギフト

- ・**プリペイド式ギフトカード**により支給。申請及びギフトカード利用可能のお知らせに**和泉市公式LINE**を活用
- ・**子育て商品・サービスの購入への活用を推奨するチラシ**を作成しており、ギフトカードの交付の際に支給対象者に併せて案内

## 取組の評価（利用者の声等）

- ・**子育て商品・サービスの購入への活用を推奨するチラシ**の効果もあり、**ギフトカードだからこのカードはこどものために使おうと思える**ので、現金でなくカードでもらえてよかったとの声
- ・出産・子育て応援ギフトの支給がきっかけとなり、これまで以上に**市と妊産婦や子育て世帯との繋がりを構築**できている

# 出産・子育て応援交付金事業の実施例7 高知県四万十市①

## 市の概要・取組の経過

人口 … 約3.2万人(R5.10)  
出生数 … 176人(R4)  
事業開始日 … 令和5年2月1日

## 実施体制

担当部局…健康推進課 子育て世代包括支援センター  
子育て支援課 地域子育て支援センター  
担当職員…面談等対応：保健師10名（地区担当制）、助産師2名  
（保健師、助産師のうち会計年度任用職員4名）  
経済的支援：保健師1名

## 特徴的な創意工夫の取組（これまでの取組・自治体独自の取組含む）

○平成29年4月から子育て世代包括支援センターベビはぐを設置。子育て世代包括支援センターと地域子育て支援センターが協同で、妊娠期から就学前にわたり切れ目のない支援を実施

- ・妊娠中から産後の疑問や心配ごとを助産師に個別に相談できる助産師相談や妊婦教室を、地域子育て支援センターなかむら“ぽっぽ”で実施

○令和2年3月より、子育て世代の方との意見交換等も踏まえ、子育てに関する情報を広く市民に発信するために、「四万十市子育て応援Facebook」「四万十市子育て応援Instagram」を開設

- ・ほぼ毎日更新されており、こどもや子育てに関するイベントの情報、子育ての豆知識などを幅広く発信
- ・同時期に行われた市公式ホームページのリニューアルに伴い、子育てに関する専用のページ「しまんと子育て応援サイト」を開設。目的別、年齢別に妊娠、出産、子育てに関する情報が整理され、必要な情報がより検索しやすいデザインで構築

○令和4年度より地域子育て支援センターなかむら“ぽっぽ”に保育士の資格を有する専任の所長を配置

- ・これまで市役所本庁にて手続きする必要があった保育園への入所申請が、地域子育て支援センターでも可能に
- ・理学療法士や管理栄養士等の専門知識を有する先輩ママ4名をピアサポーターとして配置 概ね週に一回、子育て支援センター内でこれまでの経験や知識を生かして子育てに関する相談に対応

○令和5年8月から子育て支援アプリ「しまんと子育て応援アプリ おやこっこ」を運用

- ・スマートフォンから回答できる「アンケート機能」を利用した面談アンケートの実施や、妊産婦オンライン相談や妊婦教室、来所相談などの「オンライン予約機能」を導入し、妊産婦へより利便性の高いサービスを提供



## 伴走型相談支援

### ① 妊娠届出時

- ・妊娠届出は随時受け付けており、従来から母子保健コーディネーター（保健師）を中心に全妊婦と面談し、必要に応じて支援プランを作成



### ② 妊娠5～8か月頃

- ・安定期頃の妊娠5か月を過ぎた妊婦へ、**妊娠中に使用できるサービスを紹介するチラシを送付**
- ・「**しまんと子育て応援アプリおやこっこ**」からアンケートフォームを送信し、**妊婦はアプリ上でアンケートに回答**
- ・**全ての妊婦に対し**、従来から実施している**妊娠後期の電話相談**に加えて、アンケートの回答をもとに、**希望に応じた方法（来所、オンライン、訪問、電話）で相談に対応**

### ③ 出生届出後

- ・出生届時にこどもの発育状況及び産婦の健康や育児環境をまとめたカルテを作成
- ・カルテをもとにこんにちは赤ちゃん事業時に**地区担当保健師**が訪問して面談を実施
- ・家庭訪問、来所相談、乳幼児健診等でかかわる際には**カルテでこれまでの経過を確認**しながら対応

### ④ 随時の情報発信、相談受付

- ・子育て世代包括支援センターベビはぐでは、**毎週水曜日に妊産婦オンライン相談**を開催し、自宅に居ながら保健師や助産師へ妊娠、出産、育児に関する個別相談が可能。**地域子育て支援センター**においても**オンライン相談に対応**
- ・「**しまんと子育て応援アプリ おやこっこ**」のメール配信及びプッシュ機能による**月齢・年齢に応じた市からのお知らせをタイムリーに発信**
- ・「**四万十市子育て応援Facebook**」「**四万十市子育て応援Instagram**」により、子育てに関する情報を幅広く発信



## 出産・子育て応援ギフト

- ・事業の早期実施の観点から、現金給付を選択
- ・県が電子クーポン等のプラットフォームを構築することによる広域連携を行うことが決まった場合は、参画する方向で検討

## 取組の評価（利用者の声等）

- ・従来から、全ての妊婦へ妊娠後期の電話相談を実施していたが、**妊娠8か月のアンケートの実施により、妊婦の様子や面談希望を把握することができ**、一人一人の状況に応じた支援につながっている
- ・産前面談後には「**上の子へのかかわり方の参考になった**」「**出産の準備について聞いたおかげで、産後の授乳がスムーズだった**」との声

# 出産・子育て応援交付金事業の実施例 8 鹿児島県薩摩川内市①

## 市の概要・取組の経過

人口 … 約9.2万人(R5.10)  
出生数 … 621人(R4)  
事業開始日 … 令和5年2月1日

## 実施体制

担当部局…保健福祉部市民健康課健康増進第2グループ（川内保健センター）  
子育て世代包括支援センター（サテライト）なないろ相談室、保健福祉部子育て支援課  
担当職員…面談等対応：保健師7名（地区担当制）、管理栄養士1名、臨床心理士1名  
歯科衛生士2名、会計年度任用職員6名（助産師2名・保健師3名・管理栄養士1名）  
経済的支援：保健師1名、会計年度任用職員2名（助産師1名・保健師1名）

## 特徴的な創意工夫の取組（これまでの取組・自治体独自の取組含む）

- 平成29年10月に、子育て支援に関するポータルサイト「**さつませんだいこそだてサポートネット**」を開設  
目的・年齢別の子育てサービスやこそだてコラム、活動レポート等、妊娠から出産、子育てに関する情報を、親しみのある文章で市民に分かりやすく発信  
また、母子手帳アプリ「**さつませんだい 子育てナビ（母子モ）**」も運用し、子育て情報等をタイムリーに配信
- 令和2年12月に開催した「令和デザイントーク」（広く市民の声を聴くために開催される新しい市民との対話の場）の第2回において、市内に助産院を開設する助産師と「**産後ケア**」をテーマにした意見交換を実施
- 令和3年1月にオープンした「SSプラザせんだい（川内駅コンベンションセンター）」1階の市民サポートセンター内に**子育て世代包括支援センター（サテライト）「なないろ相談室」**を設置  
・なないろ相談室には、**保健師、助産師、臨床心理士（公認心理師）**が配置され、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する悩み等の相談や問い合わせに対応。**なないろ相談室は、川内駅（市の中心地）に近く気軽に立ち寄ることができることから、多くの方に利用されている**
- 令和3年度から、第2回令和デザイントークの意見交換を踏まえ、これまで5,000円であった**産後ケア応援券を10,000円に増額**し、また**宿泊型産後ケアの自己負担を減額**
- 令和3年度から、出生日（令和3年4月2日以降）から当市に住民登録されている子を養育する保護者を対象として**第1子10,000円、第2子30,000円、第3子以降50,000円の子育て応援券**を支給  
・授乳やおむつ替えができる場所を備えている「**薩摩川内市赤ちゃんの駅**」登録施設のうち応援券取扱登録店舗で、育児関連用品や日用品の購入等に利用が可能  
・産後ケア応援券と子育て応援券は、従来の紙の商品券に加え、令和5年9月からは、**スマートフォン決済アプリ「つんPay」**を導入し、**デジタル地域通貨**による提供を開始。対象者は紙の商品券とデジタル地域通貨のいずれかを選択



SSプラザせんだい1階  
市民サポートセンター・プレイスペース



## 伴走型相談支援

### ①妊娠届出時

- ・毎週火曜日の母子健康手帳交付日に、対象者全員に対して母子保健に関する全体説明後、保健師による個別面談を実施
- ・個別面談により、継続した支援が必要な妊婦を把握するとともに、自宅で気軽に体を動かすことができる**オンラインマタニティヨガ**や**プレパママ教室**などの市独自の取組も案内



### ②妊娠8か月頃

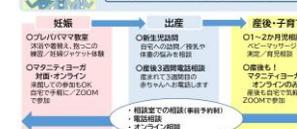
- ・**41人の母子保健推進員（地区担当制）**により、**離島も含む**市内各地域の対象者に対して訪問面談又は電話相談を実施
- ・必要に応じて地区担当保健師と連携しながら、支援につなげている



妊婦前から子育てまで 子育てに関する総合相談窓口



どんな悩みもまずはご相談下さい！！  
▼なないろ相談室では、こんな支援をお届けします▼



### ③出生届出後

- ・出生届出時に鹿児島県電子申請共同運営システムより面談予約を行い、保健師等による面談を実施
- ・子育て世代包括支援センター「なないろ相談室」では、**生後3週間電話相談**や**1～2か月時相談**を実施
- ・**生後2か月頃**には**こんにちは赤ちゃん事業**で**母子保健推進員**が各家庭を訪問

### ④随時の情報発信、相談受付

- ・月～金のほぼ毎日なないろ相談（予約制・オンラインでの個別相談可）、毎週火曜日に母子相談（予約制）を実施し、相談内容に応じて保健師、助産師、臨床心理士、管理栄養士、歯科衛生士が対応
- ・「**さつまさんだいこそだてサポートネット**」で目的・年齢別の子育てサービスやこそだてコラム、活動レポート等の情報を発信
- ・母子手帳アプリ「**さつまさんだい 子育てナビ（母子モ）**」を運用し、子育て情報等をプッシュ型でタイムリーに発信

## 出産・子育て応援ギフト

- ・事業の早期実施の観点から、**出産・子育て応援ギフトは現金給付を選択**
- ・**出産・子育て応援ギフト**と**子育て応援券の相乗効果**により、妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境整備に寄与している

## 取組の評価（利用者の声等）

- ・妊娠中や産後の不安や悩みについて専門職との面談が受けられたことで「**タイミングよく話を聞いてもらえて良かった**」「**どこに相談してよいか悩んでいた。専門職に繋いでもらえて、専門的な話も分かりやすく説明してもらえて良かった**」との声があった
- ・出産・子育て応援ギフトの支給により「**子育てはお金がかかるので、経済的な面でもとてもありがたいです**」との声があった